



西本さん 横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴8年と17年)が行く

# 未来へつなぐ大切な絆

コロナ禍で祭りやイベントのあり方は大きく変化しましたが、開催する人の思いや地域の絆はずっと大切にしていきたい。市民ママライターがそんな思いや絆を独自取材します。

## 第7回

### 幸崎能地区の神明祭

開催時期・3月の第2日曜日

(コロナで2年連続中止)

特徴・漁業で栄えた町の豊漁と

無病息災を願う祭り



春祭りの幕開けになるはずの神明祭

コロナ禍で各地の伝統行事が軒並み中止に追い込まれています。市南部の幸崎能地区に伝わる神明祭もその一つ。毎年3月に行われる春祭りの幕開けとなるはずでした。神明祭は、三原神明市と同じく伊勢信仰にちなむ祭りです。昔は旧暦の小正月である2月に開かれていましたが、参加する子どもたちの受験シーズンと重なることを考慮して、3月に行われるようになりました。

神明祭から始まる人形を飾る春祭り



わらなどで作る「こと呼ばれる等身大の人形と干支の人形を、世相を表す言葉を添えて飾り無病息災や豊漁を祈願。人形は世話役を務める複数の当家に飾られ、地域の人たちが拜んで回ります。一口飾った翌朝には、お正月飾りなどとおたきあげで供養されます。祭りの翌日からは当家が交代。新しい当家の元で春祭りを締めくくる「ふとんだんじり」の準備が始まります。



良い伝統として、子どもたちに伝えていきたい。来年こそぜひ開催したい祭りです。

幸崎神社宮司 浦和典さん

「三原市公式note」で記事掲載中!



**Hella! MIHARA**

三原市初!ハワイ出身の国際交流員コラム

Vol.7

国際交流員 横川あいさん

**翻訳スキルを磨くため勉強しています!**

国際交流員の主な業務の一つである、翻訳・通訳の研修を受けました。研修では、それぞれの言語には文化的ニュアンスが含まれるものがあり、訳すことが難しい言葉があるということを知りました。

例えば、日本語でよく使う「よろしくお願ひします」や「お疲れさまです」などの言葉は、英語には一致する言葉がありません。このような場合、似た意味の言葉を使うか、直訳して意味を補足するという方法があります。意味を補足して説明するためには、その国の文化や習慣を理解していないとうまく伝えることができません。言葉の持つ文化的背景についてもっと理解を深め、翻訳スキルを磨いていきたいです。

●外国人相談窓口(市役所本庁4階)  
問経営企画課(TEL)0848-67-6270 (FAX)0848-64-7101)

第7回 **市長** HOME STAY

三原での映画撮影に、感謝!

令和4年2月からアマゾンプライムビデオで配信中の映画「HOME STAY」。この映画は、元北方小学校と元船木小学校の体育館に、大掛かりな舞台セットを設置し、撮影が行われました。

市内での映画撮影はうれしなことですし、撮影を支えていただいた100人以上もの地元ボランティアの皆さんにも、心から感謝いたします。

地元の方々の温かいおもてなしのおかげで、出演された俳優陣や映画の制作スタッフの皆さんにも三原を好きになっただけでした。中には、今も三原の特産品を購入いただいている人もいます。

長期間にわたる映画撮影は、地元のご理解やご協力が必要不可欠ですが、完成すると感慨深いものがあります。地元の方々が縁の下の力持ちとして支えた映画を、ぜひご覧ください。